

事務事業名		原発事故放射線影響対策事業			☐ 実施計画登載事業		☐ 合併建設計画登載事業					
政策体系	政策名	02 自然豊かな環境の保全と創造			事業期間		予算科目					
	施策名	05 地域環境の保全と共生					会計	款	項	目	事業	
	基本事業名	02 良好な生活環境の保全			☐ 単年度のみ		01	04	01	03	18	
所属	根拠法令				☒ 単年度繰返 (開始 24 年度～)							
	部課名	生活福祉部市民生活環境課			☐ 期間限定複数年度							
	課長名	金野高之			【計画期間】 H23 年度～ H24 年度							
	係名	環境衛生係			※全体計画欄の総投入量を記入							
	担当者	木村 隆之	電話	0192-27-3111								
			内線	124								
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)							全体計画(※期間限定複数年度のみ)					
東京電力(株)福島第一原子力発電所の事故に由来する放射線の影響に係る対策を行う。 ・市内9ヶ所の定点測定を継続して実施し、その結果を市広報、市ホームページ等で周知する。 ・文部科学省から車載型の放射線測定器(走行サーベイ)を借り受け、市内の幹線道路を走行して、周辺の空間放射線量を測定する。 ・市民等へ空間放射線量を測定する簡易放射線測定器の貸し出しを行うとともに、市民から提供された測定結果によって市内における放射線量の状況を把握する。 ・不特定多数の市民等が利用する公共施設等において、局所的に高い放射線量が測定された場合は、除染等を実施する。 ・市が支出した放射線影響対策に係る経費等について、県及び県内市町村と連携して、東京電力㈱へ損害賠償請求を行う。							総投入量 (千円)	事業費	財源内訳	国庫支出金		
										都道府県支出金		
										地方債		
										その他		
										一般財源		
							事業費計 (A)					0
							人件費					
							正規職員従事人数					
							延べ業務時間					
							人件費計 (B)					0
							トータルコスト(A)+(B)					0

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標	
① 手段(主な活動)	⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)
前年度実績(前年度に行った主な活動)	
・定点測定と走行サーベイの実施、その結果の周知	ア 定点測定の実施回数 回
・簡易放射線測定器の無料測定貸出し	イ 走行サーベイの実施日数(延べ日数) 日
・自治体損害に係る東京電力(株)への損害賠償請求	ウ 関係施設の土壌・放流水等の検査回数 回
今年度計画(今年度に計画している主な活動)	⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)
・定点測定と走行サーベイの実施、その結果の周知	
・簡易放射線測定器の無料測定貸出し	カ 定点測定箇所数 箇所
・自治体損害に係る東京電力(株)への損害賠償請求	キ 土壌・放流水等の検査箇所数 箇所
② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等	ク
市内における空間放射線量	⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)
市内における土壌・放流水等の放射性物質濃度	
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	サ 除染作業により周辺の空間放射線量が低減する割合 %
空間放射線量を把握し、除染の目安を超えた場合には除染作業を行う。	シ 放射線に関する情報の市広報への掲載回数 回
市内における土壌・放流水等の放射性物質濃度を把握し、基準値を超えた場合には立入禁止等の措置を講じる。	ス
④ 結果(基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか)	
現在及び将来の市民の健康で快適な生活を確保する。	

(2) 総事業費・指標等の推移		年度	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(目標)	27年度(目標)	28年度(目標)
投入量	事業費	単位						
		千円						
事業費	国庫支出金	千円						
	都道府県支出金	千円						
	地方債	千円						
	その他	千円						
	一般財源	千円		362	273	620	620	620
	事業費計(A)	千円	0	362	273	620	620	620
	人件費	人		4	4	4	4	4
人件費	延べ業務時間	時間		800	800	800	800	800
	人件費計(B)	千円	0	3,200	3,200	3,200	3,200	3,200
トータルコスト(A)+(B)		千円	0	3,562	3,473	3,820	3,820	3,820
⑤活動指標	ア	回		51	51	25	25	25
	イ	日		7	5	5	5	5
	ウ	回		1	1	1	1	1
⑥対象指標	カ	箇所		9	9	9	9	9
	キ	箇所		8	8	8	8	8
	ク							
⑦成果指標	サ	%		-	-	100.0	100.0	100.0
	シ	回		12	12	12	12	12
	ス							

事務事業ID	1509	事務事業名	原発事故放射線影響対策事業
--------	------	-------	---------------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？

東京電力(株)福島第一原子力発電所事故により、大量の放射性物質が広く各地に拡散したことから、当市への放射線の影響を把握するために、空間放射線量の定点測定を平成23年7月27日から市内4箇所、同年11月30日からは5ヶ所を追加して、計9ヶ所で測定を実施。

② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは前期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？

・原子力発電所事故から3年が経過したが、その影響は相当長期間に及ぶものと思われ、品目によっては、いまだに国による農林産物の出荷制限が発せられている。
・首都圏、関西圏をはじめ、各種産業への風評被害が発生している。

③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？

原発事故以前は、放射線の影響等についての情報に触れたことがなかったため、頻度は高いわけではないが、「測定数値は生活するうえで大丈夫なのか？」「(自家栽培している)野菜を食べても問題ないか？」などの問い合わせが寄せられている。

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 結びついている ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 この事務事業の目的は当市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？
	② 公共関与の妥当性	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 妥当である ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 なぜこの事業を当市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？
	③ 対象・意図の妥当性	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 適切である ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？
有効性 評価	④ 成果の向上余地	☐ 向上余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 向上余地がない ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？
	⑤ 廃止・休止の成果への影響	☐ 影響無 ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 影響有 ⇒【その内容】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性	☐ 他に手段がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☐ 統廃合・連携ができる ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☐ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 公平・公正である ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 1次評価者としての評価結果 (2枚目と整合を図ること)	(2) 全体総括(振り返り、反省点)																							
<table><tr><td>① 目的妥当性</td><td>☒ 適切</td><td>☐ 見直し余地あり</td></tr><tr><td>② 有効性</td><td>☒ 適切</td><td>☐ 見直し余地あり</td></tr><tr><td>③ 効率性</td><td>☒ 適切</td><td>☐ 見直し余地あり</td></tr><tr><td>④ 公平性</td><td>☒ 適切</td><td>☐ 見直し余地あり</td></tr></table>	① 目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	② 有効性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	③ 効率性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	④ 公平性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	原発事故から3年余りが経過し、農林産物の出荷制限や当市の基幹産業である水産業への風評被害が大きい。空間放射線量を市内9ヶ所の定点測定、走行サーベイにより把握することができ、市広報、市ホームページ、地元新聞に測定結果を掲載することで、市内外に当市の空間放射線量が生活上影響ないレベルであることを周知することができた。											
① 目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																						
② 有効性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																						
③ 効率性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																						
④ 公平性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																						
(3) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可)	(4) 改革・改善による期待成果																							
<table><tr><td>☐ 廃止</td><td>☐ 休止</td><td>☐ 目的再設定</td><td>☐ 事業統合・連携</td><td>☒ 現状維持</td></tr><tr><td colspan="5">事業のやり方改善 (☐ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 公平性改善)</td></tr></table> (上記方向性に対する具体的な内容) 原発事故の収束は、今なお道筋や出口が見えていない。災害廃棄物の広域処理の報道に触れて、東北地方以外では放射能に非常に敏感になっている感がある。放射能の物理的な減衰があるものの、いまだに国による出荷制限指示が出されていることや、これに関する風評被害などが見られることから、当面現行の体制で進めていくが、空間放射線量測定結果が低位で推移していることから、以降の測定頻度の見直しなどを考える必要がある。 また、民間損害、自治体被害に関わらず、損害賠償金支払いに向けて、県や他市町村とともに、東京電力に対する働きかけを一層強めていく必要がある。	☐ 廃止	☐ 休止	☐ 目的再設定	☐ 事業統合・連携	☒ 現状維持	事業のやり方改善 (☐ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 公平性改善)					左記(3)の改革改善案を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要)													
☐ 廃止	☐ 休止	☐ 目的再設定	☐ 事業統合・連携	☒ 現状維持																				
事業のやり方改善 (☐ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 公平性改善)																								
<table><tr><td colspan="2"></td><td colspan="3">コスト</td></tr><tr><td colspan="2"></td><td>削減</td><td>維持</td><td>増加</td></tr><tr><td rowspan="3">成果</td><td>向上</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>維持</td><td></td><td>●</td><td>×</td></tr><tr><td>低下</td><td></td><td>×</td><td>×</td></tr></table>				コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持		●	×	低下		×	×
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持		●	×																				
	低下		×	×																				
(5) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等																								

4 事務事業の2次評価結果

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合																								
①記述水準(1次評価の記述内容を読んだ段階で選択)																								
☐ 記述不足でわかりにくい																								
☐ 一部記述不足のところがある																								
☒ 記述は十分なされている																								
②評価の客観性水準(2次評価を行った後に総合的に判断して選択)																								
☐ 客観性を欠いており評価が偏っている(事務事業の問題点、課題が認識されていない)																								
☐ 一部に客観性を欠いたところがある																								
☒ 客観的な評価となっている(事務事業の問題点、課題が認識されている)																								
(2) 2次評価者としての評価結果	(3) 評価結果の根拠と理由																							
<table><tr><td>① 目的妥当性</td><td>☒ 適切</td><td>☐ 見直し余地あり</td></tr><tr><td>② 有効性</td><td>☒ 適切</td><td>☐ 見直し余地あり</td></tr><tr><td>③ 効率性</td><td>☒ 適切</td><td>☐ 見直し余地あり</td></tr><tr><td>④ 公平性</td><td>☒ 適切</td><td>☐ 見直し余地あり</td></tr></table>	① 目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	② 有効性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	③ 効率性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	④ 公平性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	市内への放射線の影響について、各種測定等を実施して把握するとともに、市民への周知を行っており、市民の安全・安心の確保のため適切な事務執行が行われている。											
① 目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																						
② 有効性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																						
③ 効率性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																						
④ 公平性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																						
(4) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可)	(5) 改革・改善による期待成果																							
<table><tr><td>☐ 廃止</td><td>☐ 休止</td><td>☐ 目的再設定</td><td>☐ 事業統合・連携</td><td>☒ 現状維持</td></tr><tr><td colspan="5">事業のやり方改善 (☐ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 公平性改善)</td></tr></table> (上記方向性に対する具体的な内容) これまでの結果で、市内においては人体に影響を与えるような測定結果は得られていないが、県内でも出荷制限や風評被害が依然見られることから、当面、市内外の動向にも注視しつつ、事業を継続していく。また、損害賠償についても、引き続き県・県内市町村と連携しながら東京電力(株)に対し強く支払いを求めている。	☐ 廃止	☐ 休止	☐ 目的再設定	☐ 事業統合・連携	☒ 現状維持	事業のやり方改善 (☐ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 公平性改善)					左記(4)により期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。また、1次評価と内容が異なる場合には、1次評価の結果も「○」で記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要)													
☐ 廃止	☐ 休止	☐ 目的再設定	☐ 事業統合・連携	☒ 現状維持																				
事業のやり方改善 (☐ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 公平性改善)																								
<table><tr><td colspan="2"></td><td colspan="3">コスト</td></tr><tr><td colspan="2"></td><td>削減</td><td>維持</td><td>増加</td></tr><tr><td rowspan="3">成果</td><td>向上</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>維持</td><td></td><td>●</td><td>×</td></tr><tr><td>低下</td><td></td><td>×</td><td>×</td></tr></table>				コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持		●	×	低下		×	×
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持		●	×																				
	低下		×	×																				

5 最終評価結果

(1) 行政経営推進会議等での指摘事項
